

木繊維断熱材シュタイコ



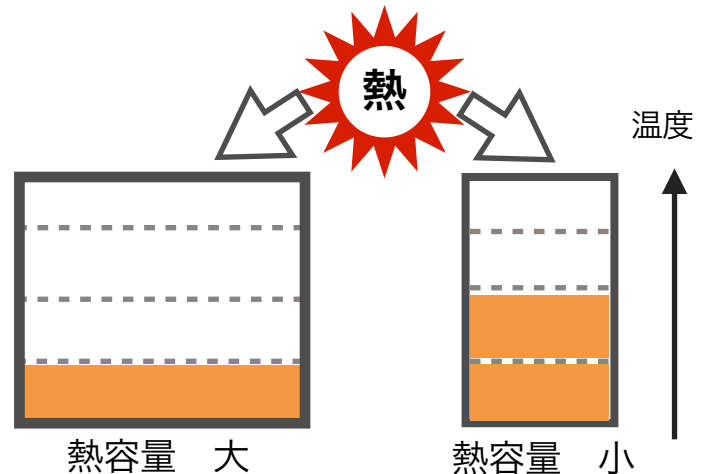
熱容量の大きい断熱材

断熱材の性能を示す目安として熱伝導率が評価の基準となることが多いですが、蓄熱する力、熱容量の大きさも住み心地に大きな影響を与えます。熱容量が大きければ熱の伝わる速度が遅くなる為、暑い真夏でも室内の温度変化が少なくなり、快適な室温を維持します。

断熱材種類	熱容量 J/(kg*K)	熱拡散性 cm ² /h	熱伝導率 W/(m ³ *K)	比重 Kg/m ³
STEICO Flex 038	2100	13	0.038	50
スタイロフォーム断熱材	1380	26	0.040	40
グラスウール	800	53	0.035	30
ロックウール	80	90	0.040	20

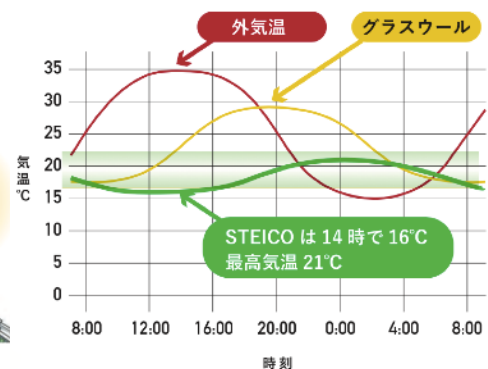
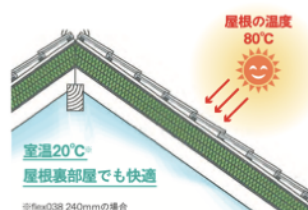
熱容量とは？

加えた熱をどれだけ蓄えられるかという指標であり、熱容量の大きいものは温度が上がりにくく、熱容量の小さいものは温度が上がりやすくなります。



照射実験比較

外気温が40度の時、屋根瓦の裏は80度にも達します。しかし、熱容量の高いシュタイコでは外気の影響を軽減しより快適な室温を維持します。



木繊維断熱材シュタイコ



調湿性を持つ断熱材

シュタイコはドイツの唐檜を原材料とした断熱材である為、調湿性、いわゆる呼吸をする断熱材になります。木材の持つ適度な調湿性能は人間の健康状態を保つだけでなく、結露による構造材へのダメージも軽減するなど、人にもお家にも相性の良い断熱材となっております。



湿度が健康に及ぼす影響

湿度は高すぎても低すぎても健康状況に影響を与えます。湿度が70%以上になるとカビやダニが発生し汗の発汗が妨げられ不快に感じます。逆に湿度が40%を切るとインフルエンザなどのウイルスや口腔内の粘膜の乾燥、静電気が発生しやすくなります。

